



ラボビジネスインテリジェンス

Agilent
CrossLab

From Insight to Outcome

客観的データにもとづく
効率的なラボ運用



Agilent Technologies

ビジネスインテリジェンスは、客観的データにもとづく 効率的なラボ運用を実現します。

Agilent CrossLab ビジネスインテリジェンスは、客観的なデータをもとに
ラボ運営について理解を深め、ラボマネージャや経営者のビジネス判断
を手助けする情報を提供します。あらゆる角度で収拾した多くのデータ
を整理、解析して組織全体の経済的成果、運用上の成果、科学的成果
へと導く効果的な戦略を築くことができます。

膨大なデータをビジネス判断の 裏づけとなる情報に転換

- コストの理解とコントロール状況
- ラボ運営の組織的な改善
- 現行資産を最大限に利用する方法
- サービス & サポート人材の効率的な利用
- 機器在庫の効果的な利用と維持
- コスト削減が実現可能な領域の発見



「見えない価値」を「目に見える成果」へ

Agilent CrossLab ラボビジネスインテリジェンスは、お客様のラボ運営に関わるデータを解析し、客観的な裏づけにもとづいたビジネス判断を実現するための情報を提供するソフトウェアです。ラボビジネスインテリジェンスエンジンはさまざまなソースから得たデータと情報を利用して、機器性能、サービスレベル、ラボワークフローに関わる重要指標を抽出します。

ラボビジネスインテリジェンスエンジンは様々な指標を分析し、数値的根拠に基づいたビジネスチャンス特定し、以下のような情報を含む詳細なレポートを提供します。これにより、客観的データに裏付けされたビジネス判断を実現します。

- ラボ資産、ワークフロー、人材に関する疑問点に対する回答
- 見えない価値を、科学的成果、ビジネス成果へと導くラボ運用に誘導
- 運用上の課題解決とラボの生産性を最大化する方法

ケーススタディ：用途適正

ある上場医薬品メーカーの生物学的分析ラボの科学者は、臨床前の重要サンプルのバッチを大量に分析していました。サンプルはこのアプリケーションのために頻繁に使用される機器で処理されていました。

処理中に技師がラボへ戻り、機器 2 台がサンプルシーケンシングの早い段階で故障していたことを発見しました。その結果、残りのサンプルが変性したため分析に使えなくなり、膨大な時間とサンプル材が失われたのです。

点検サービスの依頼を出したところ、翌日サービスエンジニアが訪問し、問題の特定と修理をし、再発防止措置が取られました。

ラボマネージャの疑問

過去データにより、故障した機器が機器ベンダー発行のサポート終了日に達していたこと、最新バージョンよりも 3 世代以上古いことが判明しました。

ここからラボマネージャの頭には 2 つの疑問が浮かんできました。「きわめて重要なサンプルとアプリケーションをサポート終了間際の機器で使っていて問題ないか。また、処理能力を上げることはできないか。」「今後、このようなことが起こらないためにはどうすればいいのか」。アジレントのチームはこの状況を詳しく調べてほしいと依頼されました。

解析用データの集結

ラボビジネスインテリジェンスはラボ運営に関するデータを複数のソースから収集、集約、解析します。これにより、ラボマネージャが裏づけになる情報を得た上でラボ運営の意思決定をできるようサポートします。

アジレントのチームはラボビジネスインテリジェンスを利用して、ラボの機器の設置状況を調査、点検しました。担当のラボマネージャと話し合い、在庫リストとラボ評価情報も収集されました。それらのローデータがラボビジネスインテリジェンスエンジンに入り解析されました。データには機器の使用年数、修理履歴、技術ライフサイクルレベル、サポート終了日、実験プロトコルの重要性が含まれていました。その後、一連の指標とレポートでアウトプットされました。

数値的根拠の答え

アジレントのチームはラボビジネスインテリジェンスエンジンで作成されたレポートを利用して、以下の質問にお答えしました。

Q: 「我が社のラボで重要なサンプルとアプリケーションを旧式の機器で処理しているのはなぜか。」

A: この会社では、一度設置した機器を、サンプルの重要性という指標に基いて再配置する習慣がありませんでした。また、1世代新しいテクノロジーを採用するとどのような効率化とリスク回避が可能になるかという解析もなされていませんでした。

Q: 「今後、このようなことが起こらないためにはどうすればいいですか。」

A: ラボビジネスインテリジェンスは下記の数値的根拠に基づいた機器の再評価を提案しました。

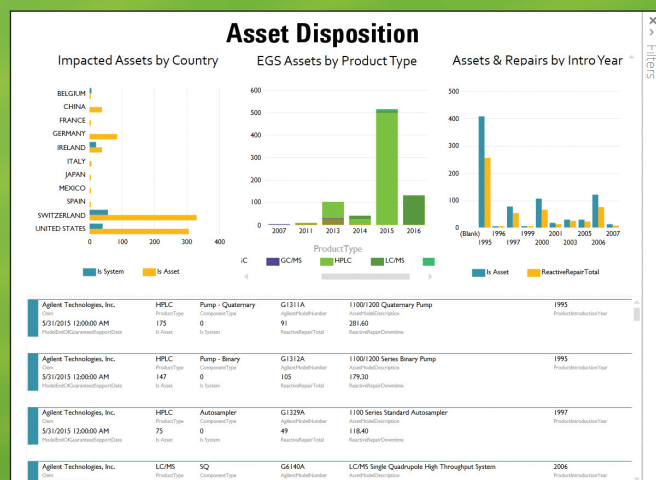
- 機器の使用年数、重要性、状態の追跡。
- 機器の稼働時間と想定外のダウンタイムのモニタリング。
- 保守メンテナンス/適格性評価スケジュール、廃棄および交換の可能性を最適化するための、機器性能と定期的な点検サービスの実施と評価。
- 重要性に基づいた全機器の再配置。
- 装置を使用する可能性のあるスタッフ全員への教育と円滑なコミュニケーション。

これはラボ経営者やマネージャが効果的かつ数値的根拠に基づく戦略を構築するために、ラボビジネスインテリジェンスがサポートできる内容のほんの一例です。ラボビジネスインテリジェンスを利用してラボ運用を組織的に改善し、運用リスクを軽減するビジネス判断をバックアップします。

ラボビジネスインテリジェンスサービスのレポート: データを行動に変える

アジレントのラボアドバイザープロフェッショナルは、ラボビジネスインテリジェンスレポートを利用して、お客様のラボ運営から目に見えない重要な価値を発見します。アジレントのチームはそこから得た所見をお客様に直接お伝えし、目に見える成果につながる可能性について話し合い、改善の機会を特定します。その後、この情報を活用して、以下のような領域の効果的な戦略を作成および実行するお手伝いをします。

- 技術ライフサイクル管理
- サービスレベルの最適化
- 資金の獲得
- 技術の処分
- 技術の移行



ラボビジネスインテリジェンスは、ラボ運営に関わるデータ分析とそれに基づいて決定されるビジネス判断をサポートするツールです。

お客様のラボ運営データから重要な情報を発見

Agilent CrossLab ラボビジネスインテリジェンスは、アジレントが提供できる様々な専門知識を組み合わせ、より意味のある情報を提供します。お客様は、ラボ運営に対する深い知見を得ることができます。アジレントのサポートチームがこの理解に基づいてお客様と連携し、決定した計画を作成および実行します。その上で運用上の目標達成、組織全体の技術力、生産性、経済的利益の向上を支えます。

ラボビジネスインテリジェンス

機器の有効的な活用

機器をいかに有効活用するかは、生産性の向上と、効率的なコスト計画を決定するには必要不可欠な要素です。ラボビジネスインテリジェンスは、機器の稼働状態、稼働時間、予定外のダウンタイム、パフォーマンス、サービス履歴に関するレポートを作成します。

お客様のラボ資産から最高のパフォーマンスを引き出す

ラボビジネスインテリジェンスは、ラボ資産の使用年数、重要性、使用状況、および正しい装置が正しいアプリケーション、プロジェクト、実験プロトコルに使用されていることを判断するための情報を提供します。

機器在庫の効果的な優先順位づけとメンテナンス

ラボビジネスインテリジェンスはラボ装置の修理状況に関する情報をレポートします。これにより、最大限の稼働時間と稼働状態を引きだせるメンテナンススケジュールを計画し、最適かつ無駄のない消耗品の交換時期を特定します。

資本コストの理解とコントロール

ラボビジネスインテリジェンスは、お客様の組織内であまり利用されていない、過剰に利用されている、老朽化している、あるいは余っているラボの機器を特定します。これにより、効率的かつ効果的なラボの機器交換、再配置、廃棄等に必要情報を提供します。

サービス & サポートの効率的な利用

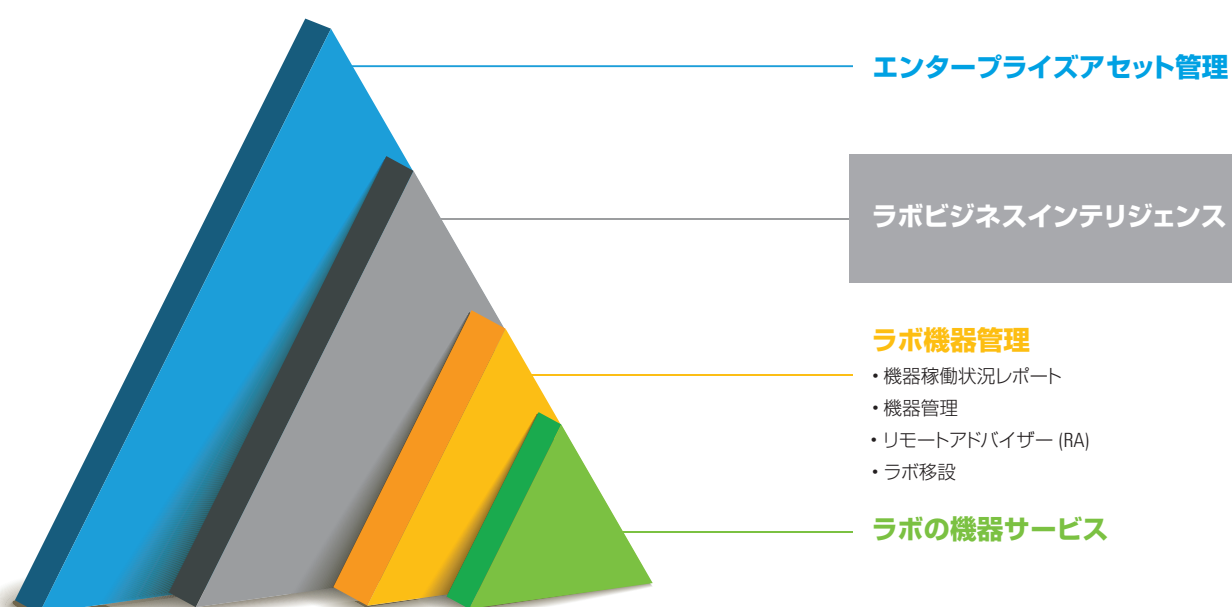
ラボビジネスインテリジェンスは機器のメンテナンス、修理、適格性評価の実施状況を定期的に分析します。これにより、お客様の目的に沿ったサービス & サポートプランを作成します。

コスト改善点の発見

ラボビジネスインテリジェンスアナリティクスは、ラボマネージャと経営者がラボの運用状況と予算の利用方法を解析します。これにより、コスト改善が可能な領域、および潜在的なコスト削減方法を特定します。

ラボ運営に重要な「見えない価値」を「目に見える成果」へ

Agilent CrossLab ラボビジネスインテリジェンスは、Agilent CrossLab エンタープライズアセット管理サービスおよびサポートソリューションと連動しています。それらは、複雑な科学的課題およびビジネス上の課題への挑戦、お客様の科学的およびビジネス上の目標達成をサポートするように設計されています。



Agilent
CrossLab

**Agilent CrossLab エンタープライズラボアセット管理で
お客様の科学的およびビジネス上の目標を達成**

- ラボ運営の客観的データを活用し、数値的根拠に基づく意思決定
- 機器の設置状況、使用状況に関する客観的データ
- ラボの機器コスト総額の削減
- ラボレベル、事業所レベル、またはグローバル規模での科学的成果とビジネス成果の向上

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタマコンタクトセンタ

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本資料掲載の製品は、すべて研究用です。本資料に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。アジレントは、本文書に誤りが発見された場合、また、本文書の使用により付随的または間接的に生じる損害について一切免責とさせていただきます。

アジレント・テクノロジー株式会社

© Agilent Technologies, Inc. 2015

Printed in Japan, September 24, 2015

5991-6276JAJP



Agilent Technologies